

令和5年度 浅間台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

・ケアプラザの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組んでいきます。  
 ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

—具体的な取組内容—

- |                          |                                     |   |
|--------------------------|-------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、多角的視点から課題抽出を継続していきます。<br>(Nカフェ「認知症カフェ」の開催、一般・企業向け認知症サポーター養成講座の開催。キャラバンメイトエリア勉強会の充実、認知症せんげん」という「浅間」台CPと「宣言」を合言葉に、認知症に対する偏見をなくし正しい認知症の理解を地域に広めていきます。) |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 顔の見える関係づくりを大切に、相談機能等も含めたケアプラザの広報活動に努めます。また、利用しやすい施設を目指し、環境の整備等も行います。<br>(広報紙の発行、地域での清掃活動、出前講座、フードパントリー及び子ども食堂で西区相談窓口案内クリアファイル配布等で相談機能を啓発を継続します。)                        |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域の身近な場で、地域住民との協働によるサロンなど、多世代が交流できる介護予防や社会参加、生活支援の充実を目指します。<br>(活動の周知や社会参加への情報発信、地域の見守り活動、つながりづくりの支援、地域サロンへ高齢者の社会参加、介護予防、居場所等、地域の活動を創出することに努めます。)                       |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | 地域資源の情報集約と情報提供を行っていきます。<br>(地域資源情報の更新・活用、地域活動一覧表の更新 子ども関係では子育て連絡会及び子ども居場所作り検討会事務局として各団体の活動を毎月1回「みんなであそぼ」を発行して地域に情報提供します。)   |
| <input type="checkbox"/> | <input checked="" type="checkbox"/> | イベントや事業を通して子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくっていきます。<br>(ボランティア支援、多世代交流、ひとり親子ども支援の場の提供 など)   |

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

認知症のひとにもやさしいまちづくりを目指し、キャラバンメイトの方達とともに認知症カフェを再開、自治会等の小単位での講座やケアプラザまつりでは、ワークショップのコーナーを設け児童向けに啓発活動を実施しました。来年度も少しでも理解していただけるように啓発の進め方を検討していきます。  
 広報活動では、広報紙を毎月発行し福祉保健に関する情報や講座等の情報を発信しました。自治会町内会のご協力で、地域に回覧していただき情報をお届けしています。担当地域に開館したハウスを利用し、他の団体と協働してサロンを開催をしています。また、ウクレレ教室等自主事業に移行し、通いやすい居場所づくりに努めました。7月からは、月2回相談の日を設定し気軽にご相談いただける機会をつくりました。  
 子育て関係では、他の団体と連絡会等を開催し、情報の共有や子育てカレンダーを毎月発行する等地域に情報提供を行っております。今年度は、3年ぶりにケアプラザ祭りを開催し、出演、出店、ボランティア等で多世代の方に参加、ご活躍いただきました。また、ケアプラザの講座やデイサービスでも新規のボランティアの方も増え、ご活躍いただいております。

区からのコメント

(全事業共通事業)  
 ○地域ケアプラザの周知活動や地域住民の支援を通じ、身近な場所での地域の拠点形成に尽力いただきました。蓄積した地域情報から課題エリアを絞り、地域住民同士の見守り組織形成につながりました。  
 ○また、地域アセスメントにおいては、引き続き地域特性を考慮しながら、織を越えた連携により、個別課題を地域課題として捉える機会として継続し、住民主体の地域づくりにつなげられることを期待します。

(地域包括支援センター事業)  
 ○認知症はじめ、包括的・継続的ケアマネジメント、権利擁護等、様々な分野で身近な地域での普及啓に取り組んでいただきました。引き続き、対象者のニーズを捉えた普及啓発に取り組んでいただくことを期待しています。  
 ○また、地域の様々な関係機関との顔の見える関係づくり、地域ニーズの検討等に取り組んでいただきました。今後も、地域住民、関係機関との連携・協働による見守りやつながりづくり等、地域づくりが一層推進していくことを期待しています。